

講義名称	ミクロ経済学 I	担当教員名	松田 慎一
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	経済 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	SOC121

授業のキーワード	需要と供給、均衡、市場、経済の効率性
授業の概要	この授業は、はじめて経済学を勉強しようとする人を対象として、経済学の基礎となる考え方や見方の修得を目標とします。経済関連科目を受講する人は必ず履修する必要があります。
期待される学習成果 (目標)	1. ミクロ経済学の基本的な考え方を理解できる。 2. 需要や供給などの基本的な用語を使い経済について説明できる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	授業概要の説明と、ミクロ経済学とはどのような学問であるのか解説します。
2	トレードオフ、インセンティブなど (1)	経済学の基本的な考え方を学びます。
3	トレードオフ、インセンティブなど (2)	経済学の基本的な考え方を学びます。
4	市場における需要と供給：需要	需要と供給曲線について解説します。
5	市場における需要と供給：供給	供給と供給曲線について解説します。
6	市場における需要と供給：需要と供給、均衡	市場が持つ機能について解説します。
7	需要、供給、政府の政策：価格規制 (1)	価格規制とは何か、価格規制により、市場に何が生じるのか解説します。
8	需要、供給、政府の政策：価格規制 (2)	価格規制とは何か、価格規制により、市場に何が生じるのか解説します。
9	需要、供給、及び政府の政策：税金 (1)	課税の役割について解説します。
10	需要、供給、及び政府の政策：税金 (2)	課税の役割について解説します。
11	弾力性：需要と供給の価格弾力性 (1)	価格弾力性について解説します。
12	弾力性：需要と供給の価格弾力性 (2)	価格弾力性と曲線の関係について解説します。
13	消費者余剰・生産者余剰・総余剰 (1)	余剰について解説します。
14	消費者余剰・生産者余剰・総余剰 (2)	余剰について解説します。
15	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。

定期試験	授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
授業時間外学習	1-5回：参考文献を使い進捗の範囲を通読し、要点を整理する。 6-10回：参考文献を使い進捗の範囲を通読し、要点を整理する。 11-15回：参考文献を使い進捗の範囲を通読し、要点を整理する。
評価方法	授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点により評価します。授業内において、出題した課題の返却を予定しています。
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じて資料を配布します。
参考文献	マンキュー『入門経済学』3版 東洋経済 ステイグリッツ・ウォルシュ『入門経済学』4版 東洋経済 アセモグル・レイブソン・リスト『ミクロ経済学』東洋経済 安藤至大『ミクロ経済学の第一歩』有斐閣